

蓄電デバイスの基礎と選定/活用のポイント

日時
2018年 12月7日 (金)
10:30 ~ 16:30

受講料

1名 44,000円+税
2名以上1名 40,000円+税

案内図



飯田橋駅下車 各徒歩約5分
JR中央線(緩行線)
地下鉄東西線(A5出口)
地下鉄有楽町線・南北線(A4・B2a出口)
都営地下鉄大江戸線(A4出口)

<お申込要項>

- ・参加ご希望の方は、HP・E-mail・FAX電話、何れかにてお申込ください。
- ・お申込に際し、社名・部署名・受講者名住所・連絡先(TEL・FAX・E-mail)をお知らせください。
- ・お申込次第、受講票・請求書等を発送します。受講料のお支払は銀行振込・当日持参のいずれかをお願いします。
- ・受講料は講座後のお支払いも対応致します。(個人申込除く)
- ・開催日前14日以降のキャンセルはお受けできません。
- ・受講者数が開催基準定員に満たない場合は中止になります。

会場 産業科学システムズ会議室(東京都千代田区富士見1-5-1)

講座の概要 リチウムイオン電池、ニッケル水素電池、電気二重層キャパシタ、リチウムイオンキャパシタといった蓄電デバイスは、自動車、産業機械、電力、住宅、電池、材料など多くの企業が注目する成長製品です。また蓄電デバイスの性能向上が応用製品の性能向上やアプリケーションの拡大に直結するため、エネルギー密度や出力密度がさらに高く、かつ高度な信頼性・安全性を持つ蓄電デバイスが求められており、様々なタイプの製品が開発されてきています。

本講座では、各種蓄電デバイスの動作原理や特性を解説するとともに、応用製品に求められる機能に応じて様々な蓄電デバイスの中からどのデバイスを選択するのか、その判断時に必要となる知識と考え方についてもわかりやすく解説いたします。

講師 群馬大学 大学院理工学府 環境創生部門 教授
工学博士 鷲島真一氏

- ・蓄電デバイスの動作原理と特性
- ・蓄電デバイスの適用分野
- ・モバイル機器用電源
- ・電気自動車用電源
- ・発電装置
- ・各種二次電池の特性
- ・リチウムイオン電池の今後の展開と課題
- ・リチウムイオン電池の性能向上の取り組み
- ・リチウムイオン電池の安全性向上の取り組み
- ・蓄電デバイスの今後の展開
- ・まとめ

質疑応答

お申込・お問合せは

主催 ISS 産業科学システムズ
<http://www.ebrain-j.jp/>

TEL (03)3264-5635 FAX (03)3264-5675
E-mail: education@ebrain-j.com

申込書 FAXは 03-3264-5675

講座参加申込書 「金属疲労メカニズムと疲労強度向上技術」

セミナーコード

1101-160708

太枠内をご記入の上FAX (03-3264-5675) してください。

2016/7/8 ISS

社名	所在地	〒	電話	()
No.	所属部課 (正式名称)	氏名	E-mail アドレス	-
				()
			FAX	-
窓口部署			お支払予定	当日ご持参 銀行振り込み
この講座をお知りになった媒体を○で囲んでください パンフ はがき Eメール ホームページ 検索サイト() その他				